

令和7年度 八千代市保育園研修会 アンケート集計結果

講師：東京女子医科大学八千代医療センター 小児科 武藤順子医師

研修実施日：令和7年7月16日 テーマ：エピペン・アナフィラキシー研修会

参加者数：87名 アンケート回答者数：87名

参加施設：31施設（幼稚園：4園，民間園・こども園：9園，社会福祉協議会・学童保育所：6施設，
公立保育園：8園，すてっぷ21：2園，児童発達支援センター，子ども保育課）

アンケート回答者職種

計 87 名

施設長（副）等	保育・幼稚園教諭	保育士	看護職	栄養士	学童指導員等
14名	7名	48名	6名	2名	10名

1, これまで、エピペンやアナフィラキシーについて医師による研修を受けたことはありますか？

- ・ はい...43名
- ・ いいえ...43名
- ・ 未解答...1名

2, 貴施設でエピペンやアナフィラキシーについて研修を行っていますか？

- ・ はい...65名→その際、エピペントレーナーを使用していますか？ はい...60名
- ・ いいえ...5名
- ・ いいえ...20名
- ・ 未解答...2名

3, 今回の講義内容はいかがでしたか？（ひとつだけ回答）

- ・ よく理解できた...70名
- ・ だいたい理解できた...11名
- ・ 少し理解できた...2名
- ・ よく解らなかった...0名
- ・ 未解答...4名

4, 今日の研修を受けて、エピペンを打つことについてどう思いますか？（ひとつだけ回答）

- ・ 人命救助の観点から、職種に関係なくそばにいる者が打つべきである...83名
- ・ 施設では看護職が打ってほしい（自分は打つ勇氣はない）...4名
- ・ 救急隊や保護者、搬送先の病院関係者が打ってほしい...0名

5, 研修内容やエピペンを打つ練習について、感想や意見をお聞かせください（複数回答可）

- ・ アレルギーやアナフィラキシーについての理解が高まった...75名
- ・ エピペンを打つタイミングや対処等の知識が高まった...70名
- ・ エピペントレーナーでの練習によりエピペンを打つイメージができた...60名
- ・ エピペンの試打の体験や見学ができて良かった...59名
- ・ 施設内研修等で職員全体の共通理解を図りたい...43名
- ・ その他
 - ・ アレルギーの原因食物について、鶏卵の次に木の実が多いことを初めて知り、食生活の変化によって割合も変わっていくことを学んだ。
 - ・ FPIES の園児がいたため、そのことに関する情報が少ないので、PFAS や FPIES についてもっと

知りたい。

- ・トレーナーと実物の違いを体験できたのは良かった。
- ・施設内研修で職員全体へ、同レベルの共通理解は難しそうなので、研修参加をすすめたい。
- ・「迷ったら打つ」「内服薬を飲んだ後でも使用可能」の2点を知れたのは打つ勇気に繋がった。
- ・実物は感覚が知れて良かった。
- ・トレーナーを使うことも、本物の試打も初めてだった（類似意見：トレーナーは使ったことがあるが、本物は初めてだった）ので、良い経験になった。
- ・トレーナーは実際に人に打つ練習をすることで、思っていた以上に打ちにくく、動きを抑えるイメージにつながった。
- ・役割分担も大事なことが良く分かった。
- ・施設内での研修しか受けていなかったのので、医師による研修は、より緊張感を持って受講できた。
- ・アレルギーの原因食物について最近の状況を知り、園児の喫食状況や家族からの情報を細かく把握する必要性を感じた。新しい情報を常に把握していきたい。
- ・「アレルギーマーチ」の表から、アレルギー体質の子は喘息やアトピーなども関連していることを学んだ。
- ・クラスにアレルギー児がいるので、改めて考えるきっかけとなった。
- ・SNS や書籍等の最新の情報を知ることができて良かった。

6, アナフィラキシー発生時の対処法について、意見をお聞かせください（複数回答可）

- ・実際の場面で落ち着いて対応し、エピペンを正確に打てるか等の不安を感じる...46 名
- ・エピペンを打つタイミングを正確に判断できるか不安である・自信がない...23 名
- ・緊急時は不安があっても、人命救助のため勇気を持って対応したい...68 名
- ・施設内研修等で繰り返しシミュレーションをしておくことが大切だと思う...60 名
- ・その他
 - ・「迷ったら打つ」と教わり、人命救助につながることの再確認ができた。反面、勇気をもってと思う気持ちはあるが、本当に打てるのだろうか？という不安もある。
 - ・園で2名エピペンを持参している（幼稚園）。誤食しないことがベストだが、もしもの時は打てるようにしたい。
 - ・タオルへの試打でも手が震えていたので、定期的にトレーナーを使って研修が必要だと感じた。
 - ・シミュレーション映像を客観的な立場から見ると冷静に順序だてて考えることができるが、実際にその場に立った時、的確に対応できるか不安なので、繰り返しシミュレーションしていきたい。
 - ・アレルギー症状が後から出てくることもあるので、子どもの変化に気を付け、異常が見られた時は迅速に対応できるようにしていきたい。
 - ・事例を交えて講義いただいたので、よりエピペンの重要性や一時の迷いが大事に至ってしまうことに気付き、勇気をもって対応しなければと改めて感じた。

7, エピペン・アナフィラキシーの研修会について、ご意見・ご要望をお聞かせください

(複数回答可)

- ・今後も継続して対面での研修会を実施してほしい・参加したい...67 名
- ・本物のエピペン試打は貴重で良い経験となった...45 名
- ・様々な事例を聞けることは勉強になる...68 名
- ・シミュレーション映像が参考になった...45 名
- ・その他
 - ・喘息やアトピーもアレルギー発症の要因となることを知り、喘息のコントロールやスキンケアがとても大切であることをもっと内容に含んでもらえると、保護者にも伝えやすくなると感じたので、喘息コントロールやスキンケアの大切さについてももう少し深く知りたいと思った。
 - ・YouTube の映像がとても参考になった（実際のイメージができた。間違った対応も流れていて、自分で再確認しながら観ることができた。役割分担について知れた）ので、施設内研修の際も活用したい。
 - ・園内でも定期的にロールプレイしながら、職員の共通理解を図っていききたい。
 - ・トレーナーを使って研修を受けたことはあったが、エピペンの作用時間やエピペン使用後の対応（救急車で搬送、使用後のエピペンも持っていく）など初めて知ったので、このような研修が大事だと実感した。
 - ・研修に参加したことで、知識の向上は図れたたくさん学びが得られたが、いざという時に適切に行動できるのかという不安も残るので、繰り返し研修を受講したり、施設でも何度もシミュレーションを繰り返したりしながら、万が一の事態においても自ら率先して対応できるよう努めていきたい。
 - ・ペットボトルへの試打で、針の長さを見たり薬液が出る様子を見たりできたのが良かった。針の長さに驚いた。
 - ・様々な事例がとても参考になった。
 - ・毎年ではないが、繰り返し参加することで、知識の再確認や新たな内容を知る学びの多い研修だと感じている。

※自由記載の同類意見はまとめて記載してあります。